

第38回全国健康福祉祭さいたま大会（仮称）第1回基本構想策定委員会

日時：令和5年5月15日（月） 14時～

場所：埼玉会館3C会議室

次 第

- 1 開 会
- 2 委員紹介
- 3 委員長及び副委員長の選任
- 4 議 事
 - (1) 説明事項
 - ①全国健康福祉祭の概要
 - ②さいたま大会（仮称）開催までのスケジュール
 - ③第38回全国健康福祉祭さいたま大会（仮称）基本構想
 - (2) 検討事項
 - ①基本方針（大会の目標）
 - ②大会概要（名称、愛称、テーマ：公募、会期、参加予定人員、マスコットキャラクター）
 - ③事業体系（総合開会式・閉会式会場、交流大会実施種目及び会場地）
- 5 閉 会

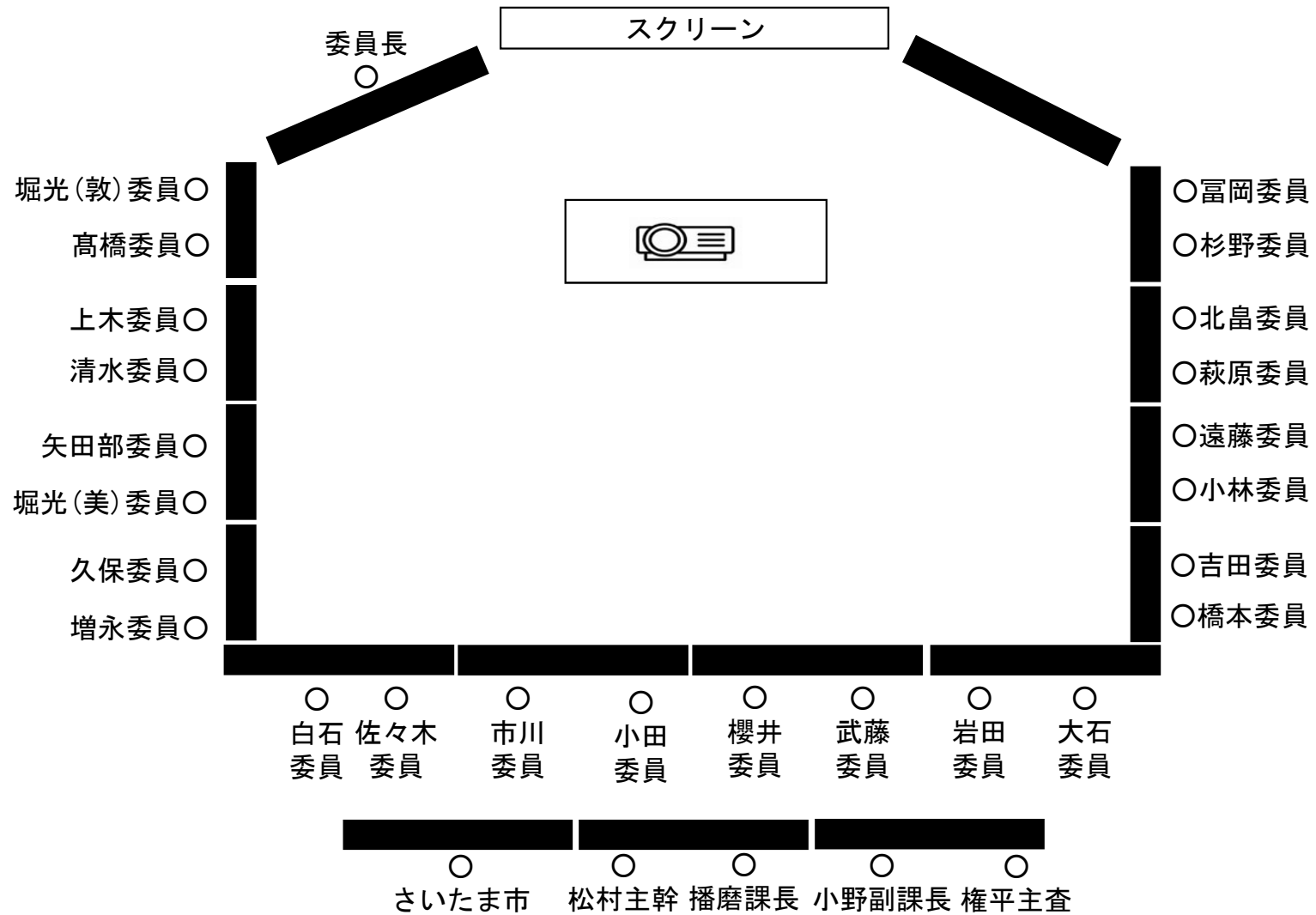
第38回全国健康福祉祭さいたま大会（仮称） 基本構想策定委員会

（敬称略）

NO	委員会メンバー	役職	氏名
1	埼玉県	副知事	堀光 敦史
2	さいたま市	副市長	高橋 篤
3	社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会	副会長	上木 雄二
4	さいたま市社会福祉協議会	常務理事	清水 恒男
5	公益財団法人埼玉県老人クラブ連合会	事務局長	落合 一弘
6	さいたま市老人クラブ連合会	事務局長	矢田部 幸二
7	公益財団法人いきいき埼玉	副理事長	堀光 美知子
8	公益財団法人埼玉県スポーツ協会	常務執行理事 専務理事	久保 正美
9	さいたま市スポーツ協会	事務局長	増永 裕一
10	埼玉県障害者スポーツ協会	副会長	白石 三重子
11	特定非営利活動法人 埼玉県レクリエーション協会	事務局長	佐々木 義則
12	一般社団法人埼玉県文化団体連合会	事務局長	市川 紅美
13	埼玉県芸術文化振興財団	専務理事	小田 恵美

NO	委員会メンバー	役職	氏名
14	一般社団法人埼玉県物産観光協会	専務理事	櫻井 正道
15	一般社団法人埼玉県商工会議所連合会	専務理事	武藤 彰
16	埼玉県商工会連合会	専務理事	岩田 英久
17	一般社団法人埼玉県経営者協会	専務理事	廣澤 健一
18	埼玉経済同友会	専務理事 事務局長	大石 克紀
19	埼玉県ホテル旅館生活衛生同業組合	副理事長	橋本 和久
20	埼玉県地域婦人会連合会	事務局長	吉田 裕美子
21	埼玉新聞社	クロスメディア局長	小林 義治
22	株式会社テレビ埼玉	取締役営業局担当	遠藤 圭介
23	株式会社エフエムナックファイブ	取締役渉外部長	萩原 由浩
24	埼玉県立大学	教授	北畠 義典
25	埼玉県市長会	常勤理事兼 事務局長	杉野 勝也
26	埼玉県町村会	常勤理事兼 事務局長	富岡 茂雄

【配席図】 第38回全国健康福祉祭さいたま大会（仮称）第1回基本構想策定委員会
 令和5年5月15日（月）14：00～16：00 埼玉会館 3C会議室





第38回全国健康福祉祭さいたま大会(仮称)

基本構想策定委員会(第1回)

説明資料

令和5年5月15日
埼玉県

< 目 次 >

(説明事項)

- | | | |
|-----------------------------|---|-----|
| ① 全国健康福祉祭（ねんりんピック）の概要 | 6 | 資料1 |
| ② ねんりんピック本県開催に向けたスケジュール（案） | 7 | 資料2 |
| ③ 第38回全国健康福祉祭さいたま大会（仮称）基本構想 | 9 | 資料3 |

(検討事項)

- | | | |
|---------|----|-----|
| ① 基本方針 | 10 | 資料4 |
| ② 大会の概要 | 11 | 資料5 |
| ③ 事業体系 | 17 | 資料6 |



ねんりんピックシンボルマーク

全国健康福祉祭（ねんりんピック）の概要

資料1

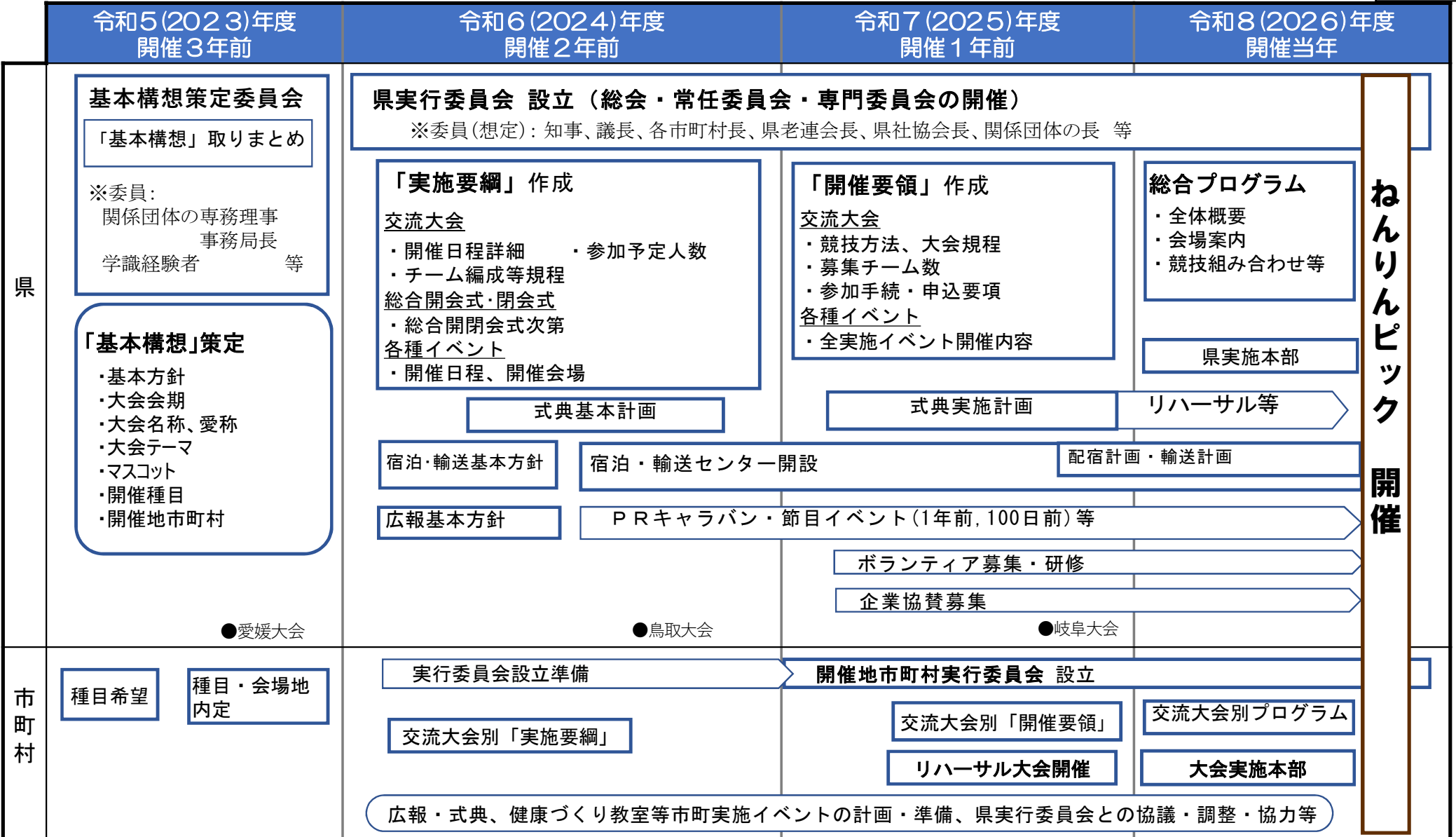
主催	厚生労働省・開催都道府県・(一財)長寿社会開発センター ※共催:スポーツ庁
開催時期	例年10月前後の4日間(土曜日～火曜日)
開催地	47都道府県で持ち回り開催 (R4:神奈川県、R5:愛媛県、R6:鳥取県、R7:岐阜県、 R8:埼玉県)
参加者	全国から選手・役員が約1万人→選手は60歳以上(都道府県+政令市の67選手団が来県) 観客等を含めた延べ参加者は約60万人

開催事例(先催県 例)

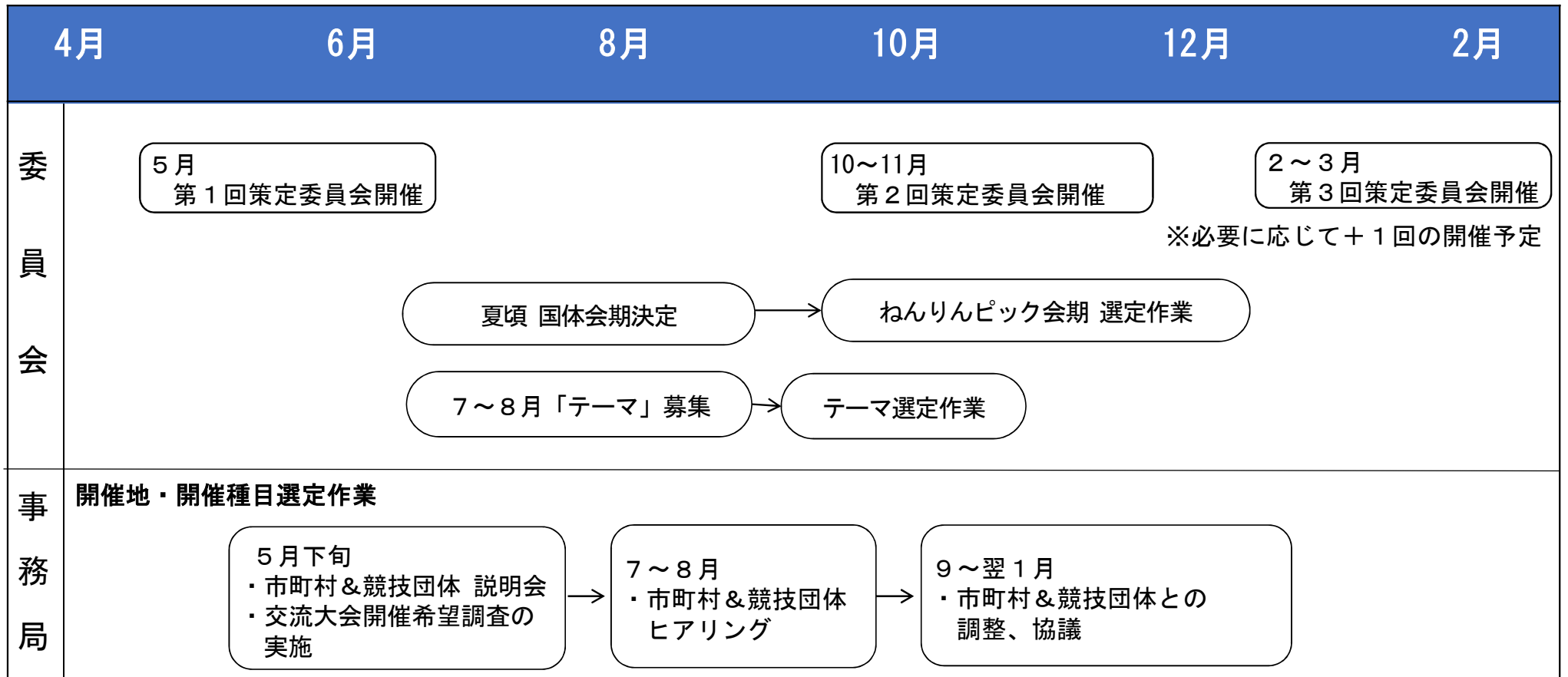
式典	総合開会式	来賓:三笠宮彬子女王殿下、厚生労働大臣 ほか 参加者:選手 約10,000人、観覧者 約2,000人 ○式典前アトラクション→選手団による入場行進→式典→ インターバル(選手はスタンドに移動)→歓迎アトラクション
	総合閉会式	参加者:選手代表や関係者 約1,000人 ○式典前アトラクション→選手代表入場→大会旗引き継ぎ→ 次期開催地アトラクション→メインアトラクション
スポーツ交流大会	【10種目(必須開催)】 卓球、テニス、ソフトテニス、ソフトボール、ゲートボール、ペタンク、ゴルフ、マラソン、弓道、剣道	
ふれあいスポーツ交流大会	【10種目程度(過去に開催された種目を中心に開催県選択開催)】 グラウンド・ゴルフ、太極拳、ソフトバレーボール、ウォークラリー、サッカー、なぎなた、水泳、ダンススポーツ、ボウリング、ラグビーフットボール 等	
文化交流大会	【4種目程度(過去に開催された種目を中心に開催県選択開催)】 囲碁、将棋、俳句、健康マージャン 等	
関連イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいニュースポーツ:e-スポーツ等のニュースポーツ紹介・体験コーナー ・健康フェア:医療、健康、食生活に関する展示・体験・相談コーナー 等 ・美術展:全国から募集した日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真の6部門の作品展示 ・地域文化伝承館:老人クラブ等が取り組んでいる伝統芸能・生活文化の展示・実演 ・シンポジウム:高齢者の生きがい・健康をテーマとしたシンポジウム ・健康福祉機器展:健康で安心安全に生活するための健康器具等を展示・紹介 ・音楽文化祭:プロによる演奏会と県内の高齢者グループ等による合唱・芸能の上演会 ・ふれあい広場:ご当地グルメの提供や特産品販売のほか、芸能人のステージ 等 	

1日目(土)	2日目(日)	3日目(月)	4日目(火)
総合開会式	スポーツ・文化交流大会(健康づくり教室併設)		総合閉会式
ふれあいニュースポーツ・健康フェア・地域文化伝承館・健康福祉機器展・ふれあい広場			シンポジウム
音楽文化祭			
美術展			

(先催県例) <ねんりんピック開催に向けたスケジュール (案) >



基本構想策定スケジュール



第38回全国健康福祉祭さいたま大会（仮称）基本構想について

1 趣旨

第38回全国健康福祉祭さいたま大会（仮称）の今後の具体的な準備、企画、運営を進める上で、基本的な方向性を示す指針とする。

2 全体構成

項目	内容
I 基本方針	1 基本方針 2 大会の目標
II 大会概要	1 名称（第38回全国健康福祉祭〇〇大会 等） 2 愛称（ねんりんピック〇〇2026 等） 3 主催：厚生労働省、埼玉県、さいたま市、（一財）長寿社会開発センター 4 共催：スポーツ庁 5 テーマ 6 会期 7 参加予定人数 8 シンボルマーク（大会共通） 9 マスコットキャラクター
III 事業体系	1 総合開会式・総合閉会式の開催日及び会場 2 交流大会実施種目及び会場市町村

基本構想策定委員会での検討事項

<検討事項 ① 基本方針>

令和8年に埼玉県で大会を開催するにあたり、社会環境の動向を踏まえ、埼玉県らしい大会とするための方向性を示す。

全国健康福祉祭（ねんりんピック）の開催目的及びさいたま大会（仮称）の特色を実現するための視点からいくつかの目標を掲げる。

1 基本方針

【事務局案】

高齢化の進行などの社会環境、さいたま大会（仮称）の方向性等を記載する。

2 大会の目標

【事務局案】

次のコンセプトをもとに、具体的な4つの大会目標を記載する。

- ◎ 「健康長寿」
- ◎ 「地域共生社会の実現」
- ◎ 「オリンピック・パラリンピック等のレガシー継承」
- ◎ 「埼玉の魅力の発信」

<検討事項 ② 大会の概要>

1 名称

「第〇〇（開催回数）回」＋「全国健康福祉祭」＋「開催地名」の組み合わせで構成されている。
開催地名は漢字、ひらがなの2つのパターンがあり、いずれかを選定する。

【事務局案】

第38回全国健康福祉祭埼玉大会

- (参考) 第36回全国健康福祉祭とっとり大会
- 第35回全国健康福祉祭えひめ大会
- 第34回全国健康福祉祭神奈川・横浜・川崎・相模原大会
- 第33回全国健康福祉祭ぎふ大会 (R2. R3中止 R7に延期)
- 第32回全国健康福祉祭和歌山大会
- 第31回全国健康福祉祭とやま大会

2 愛称

「ねんりんピック」＋「開催地名」＋「西暦」の組み合わせで構成されている。

開催地名は漢字、ひらがなの2つのパターンがあり、また、開催地名の前後に地域性を持たせた言葉を組み合わせることもある。

【事務局案】

ねんりんピック彩の国さいたま2026

(参考) ねんりんピックはばたけ鳥取2024

ねんりんピックかながわ2022

ねんりんピック紀の国わかやま2019

ねんりんピック^{えがお}愛顔のえひめ2023

ねんりんピック岐阜2021 (R2. R3中止 R7に延期)

ねんりんピック富山2018

3 主催：厚生労働省、埼玉県、さいたま市、一般財団法人長寿社会開発センター

4 共催：スポーツ庁

5 テーマ

【事務局案】

(1) 選定方針

大会開催をPRし、幅広く埼玉のイメージや大会趣旨に沿ったテーマを集めるため、先催県と同様に全国公募を実施し、本委員会で選定する。

(参考) 咲かせよう 砂丘に長寿と 笑みの花(鳥取) ねんりんを ^{えがお}重ねた愛顔 伊予に咲く(愛媛)

神奈川に 咲かせ長寿の いい笑顔(神奈川) 清流に 輝け ひろがれ 長寿の輪(岐阜)

((R2. R3中止 R7に延期))

(2) 公募概要

作品の テーマ	ふれあいと活力のある健康長寿社会づくりに相応しい内容で 「埼玉らしさ」を表現しているもの
応募資格	日本全国どなたでも応募可
募集期間	7月頃から1カ月程度
応募方法	はがき、FAX、電子メール 等
賞	最優秀賞：1点（賞状及び副賞（賞金））50,000円分 優秀賞：2点（賞状及び副賞（賞金））10,000円分 プレゼント抽選：5点（特産品） ※入賞者が高校生以下の場合、副賞は賞金相当の図書カード ※同一作品が複数あった場合、抽選
選定方法	<一次審査> ○事務局により、数十件程度まで選考 <二次審査> ○一次審査通過作品（数十件）から本委員会委員による書面審査を行い、5～10件程度まで選考 <最終審査> ○本委員会委員の協議により、最優秀作品（1点）、優秀作品（2点）を選考
審査基準	○ねんりんピックの趣旨（健康増進、社会参加、生きがい等）を踏まえているか ○埼玉らしさがあるか ○誰にでもわかりやすく、印象に残る表現であるか ○過去の大会作品やその他の既存作品に類似していないか

6 会期

会期決定の方針については、以下のとおり。

- 全国からの選手・役員をはじめ、多くの県民が参加しやすいよう、先催県では土曜日から火曜日までの4日間としている。
- 屋外での競技・イベントも多数行われることから、適度な気温と晴天が期待できる時期が望ましい。
- 国民スポーツ大会、全国障害者スポーツ大会（令和8年度は青森県）、国民文化祭（令和8年度未定）等の全国イベントを考慮した日程が求められる。

【事務局案】10月下旬～11月の4日間（土曜日～火曜日）

（参考1）令和8年度に開催予定の行事

行 事	開催地	時 期
国民スポーツ大会	青森県	9月中旬から10月中旬【11日間】
全国障害者スポーツ大会	青森県	10月中旬から【3日間】
国民文化祭	調整中	10月中旬から11月下旬

（参考2）令和8年10～11月カレンダー

令和8年10月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

令和8年11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

7 参加予定人員

参加予定人数については、先催県の延べ参加者数（実績）及び今後決定する実施種目数、イベント数等を種目数、イベント数等を勘案して決定する。

8 シンボルマーク

※全大会共通

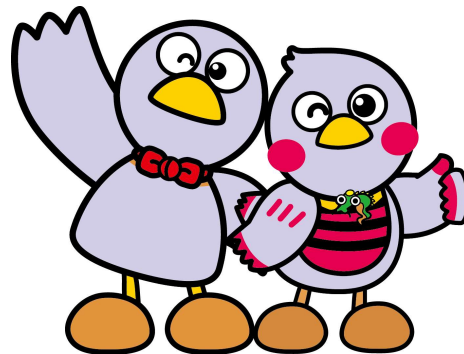


老いも若きも仲良く、共に生きていく社会を二人の人物で表しています。
また、2つの円は、その組み合わせにより、お互いに助け合い、健康と福祉の輪が未来に向かって広がっていくことを意味しています。

9 マスコットキャラクター

大会の統一したイメージを視覚的に周知するため、大会マスコットを制定する。

【事務局案】コバトン&さいたまっち（ねんりんピックバージョンを作成）



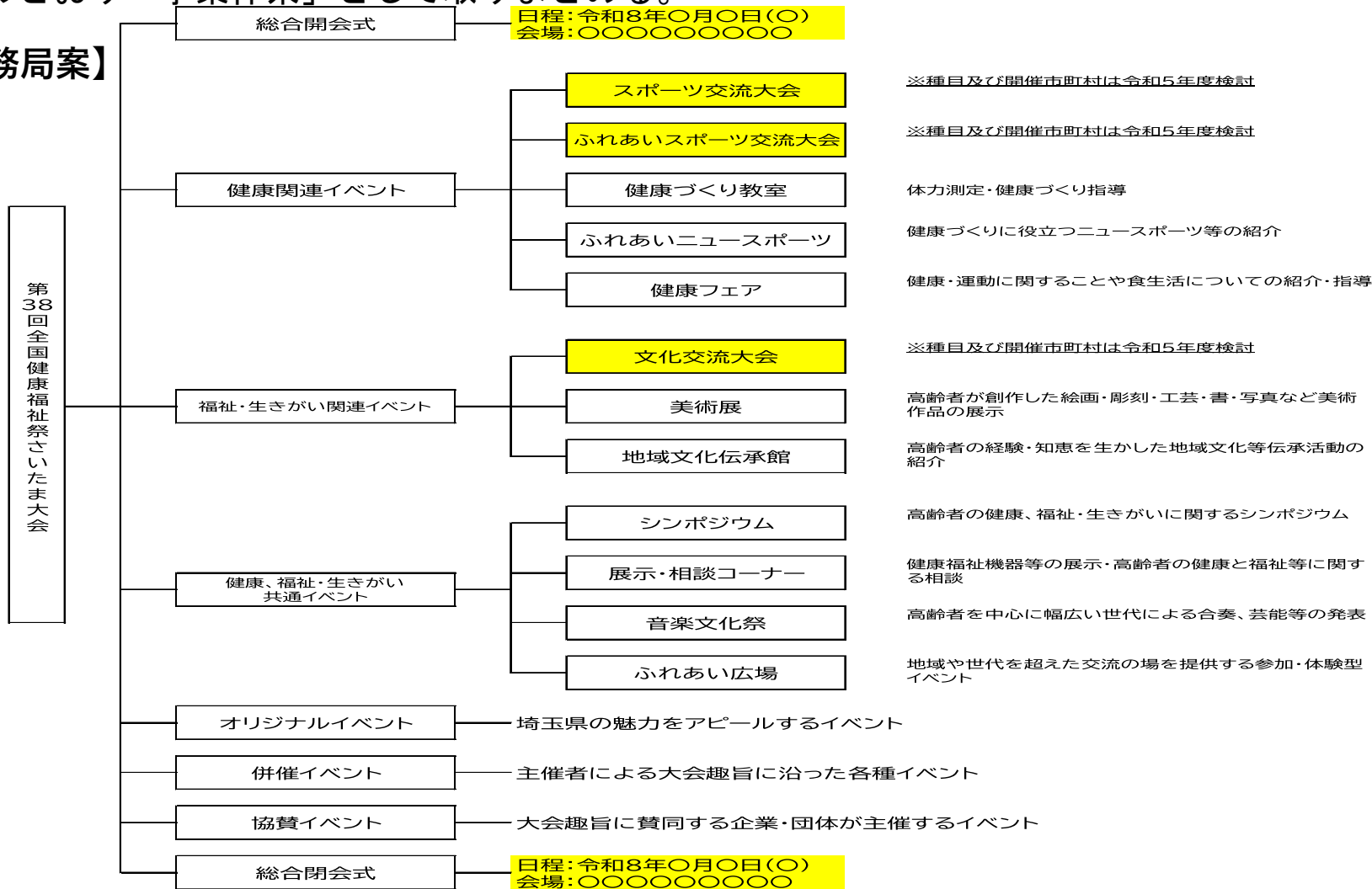
※先催県の大会マスコット

 <p>とちまるくん</p>	 <p>ちよるる</p>	 <p>がんばくん らんばちゃん</p>	 <p>んだっち</p>	 <p>きときと君</p>
<p>H26とちぎ大会 既存マスコット</p>	<p>H27山口大会 既存マスコット</p>	<p>H28長崎大会 既存マスコット</p>	<p>H29秋田大会 既存マスコット</p>	<p>H30富山大会 既存マスコット</p>
 <p>きいちゃん</p>	 <p>ミナモ</p>	 <p>かながわきんたろう</p>	 <p>みきちゃん</p>	 <p>あおやかみじろう</p>
<p>R01和歌山大会 既存マスコット</p>	<p>R02岐阜大会 既存マスコット</p>	<p>R04神奈川・横浜・川崎・ 相模原大会 既存マスコット</p>	<p>R05愛媛大会 既存マスコット</p>	<p>R06とっとり大会 既存マスコット</p>

<検討事項 ③ 事業体系>

総合開会式・総合閉会式の日程場所、関連イベント等の大会の実施事業全体を先催県例と同様、次のとおり「事業体系」として取りまとめる。

【事務局案】



1 総合開会式・閉会式会場

【事務局案】 会場については、「各県選手団や一般来場者等を収容可能な施設」、「交通の利便性」、「大規模行事等の開催実績」等を考慮して決定

※当該施設の予約状況により再検討の可能性有り

2 交流大会実施種目及び会場地

(1) 実施種目

(種目選定の考え方)

- ・ 高齢者の身体状況に配慮した競技であること。
- ・ 県内に大会運営競技団体等の基盤があり、大会を円滑に運営できること。
- ・ 高齢者に普及しており、全国からの参加が見込まれること。
- ・ 県内の既存施設で実施が可能であること。

(2) 会場地

(会場地市町の考え方)

- ・ 大会運営は会場地市町村（市町村実行委員会）が行うとされていることから、市町村の開催意向を優先すること。
- ・ 実施競技を主管する団体の協力が不可欠であるため、会場地（競技施設）について当該団体の希望を考慮すること。
- ・ 周辺宿泊施設の状況、交通の利便性、移動時間等に留意すること。

【事務局案】 (1) (2) ともに県内市町村及び各競技団体の要望や意見を調整した上で選定

(3) 選定手順

- ・市町村(5/29)・競技団体(5/31)に対して説明会を実施し、その後開催意向調査を実施。
- ・意向調査結果をもとに、ヒアリング及び競技団体との調整を実施。

(4) 交流大会実施競技及び会場地市町村選定フロー（スケジュール）

